

いしざき 遊太

編集・発行 石崎 遊太 / 令和7年9月発行 / 南下浦町上宮田1422-4 / 080-4733-4115



副議長を拝命しました

令和7年第2回定例会の本会議初日に、議員各位のご推挙により、三浦市議会第49代副議長を拝命いたしました。まだ1期目の議員である私にとって、まさに身に余る大役です。経験の浅さは否めませんが、それでもご信任をお寄せくださった議員の皆様には、感謝してもしきれません。そして何より、これまで私の議員活動を見守り、支えてくださったすべての皆様に、心より御礼申し上げます。

議員として歩み始めてからの2年間は、本当にあっという間でした。手探りの状態で、がむしゃらに走り続け、先輩方に教を請い、多くの文献を読み、現場を巡りながら、自分にできることを模索し続けてきました。



就任の挨拶時の1コマ

「市民の信頼を得られる議会とは、どんな姿であるか」「議会として守るべきものと、変えるべきものは何か」この問いと、これからも本気で向き合っていきます。至らぬ点も多いかと思いますが、若さと行動力、そして何より不断の努力で、一步ずつ力をつけてまいります。今後とも、どうかご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



PROFILE -プロフィール-

いしざき 遊太

ゆうた

HP、各種SNSなどは
こちらからどうぞ！！
過去のみうらボReportも
HPにアップしています。



1991年4月生まれの34歳。幼馴染の妻とともに、娘（2歳）と息子（11か月）の子育てに奮闘中。
上宮田小羊保育園→上宮田小学校→南下浦中学校→県立横須賀高校→慶應義塾大学総合政策学部卒。
2022年7月に約7年間勤めた大手食品メーカーを退職し、三浦市へUターン。地域活動に取り組む。
2023年4月の市議会議員選挙にて、1960票の得票をいただき、2位で当選。



材料

※3〜4人前分	
なす	3〜4本
オリーブオイル	大匙2
ニンニク	2かけ
アンチョビフィレ	2〜3枚
塩（ソース用）	2つまみ
ハーブミックス	適量
レモン汁	適量
レモン	適量
ベビーリーフ	適量

※トッピング用の分量は記載なし

作り方

1. なすはピーラーで皮をむき軽く濡らし、一つずつラップで包んでレンジで5分程加熱する。
2. そのまま氷水に浸して冷ます（やけど注意）
3. みじん切りにしたニンニクとアンチョビをオリーブオイルで炒め、塩で味をととのえる。
4. 2を縦に薄くスライスし、皿に並べて冷やす。
5. 4にオリーブオイルとレモン汁を回しかける。
6. 塩とハーブミックスを振ってレモンとベビーリーフをトッピングし、3をなすにのせる。



お手伝いに夢中な娘

焼いてよし、揚げてよし、蒸してよし——変幻自在のなす。
三浦で採れるなすの美味しさは、もはや説明不要かもしれません。
今回はそんななすの“ちょっと変わった食べ方”をご紹介します。
普段の副菜にもおもてなしメニューにも使える便利な1品です。
なすの品種によって舌触りが変わりますが、そのあたりはお好みで。
今回はアンチョビを使ったオイルソースにしましたが、動物性のうまみを添えることが目的なので、生ハムのトッピング等でもOK。
正直、分量はお好みですから、全部適量と書きたいところです(笑)

みうらみらいラボ 会員募集中

みうらみらいラボは、代表・いしざき遊太との対話を通じて、会員同士で「三浦の今と未来について考え合う」ことを目的とした政治団体です。
詳細および入会のお申し込みにつきましては、右の二次元コードよりご確認ください。
お電話にて入会のご意思をお伝えいただく際は、以下の情報をお知らせください。
①お名前 ②ご住所 ③お電話番号 ④（あれば）メールアドレス
上記をお伝えいただければ、入会手続きは完了です。
なお、市内在住の会員の皆様には、『みうらボReport』を毎月お届けいたします。



令和7年第2回定例会 一般質問 について

質問の全体像

私が行った令和7年第2回定例会における一般質問の項目は、下記のとおりです。

1.自治会運営の現状と今後

- (1) 自治会運営の実態
- (2) 行政の役割と支援
- (3) 自治会運営の課題認識
- (4) 今後の取り組み

2.新市長の公約と認識について

- (1) 新市長の公約と認識について

1の自治会運営については、三浦市にUターンしてきてから、ずっと課題に感じていたテーマでした。実際に運営にご尽力なさっている役員の方からもたくさんのご意見をいただき、現場のご苦勞を痛感しました。行政の認識をあらためて確認するとともに、実情に即した提言を行ったつもりです。

2については、選挙期間前から問題に感じていた出口市長の公約や発信の意図について、毅然と問いました。

発言の全文については、私が文字起こししたものをブログに見やすく掲載しております。下記の2次元コードからご覧ください。



コチラの2次元コードより
発言全文をご覧になれます



いしざき 遼太 一般質問

自治会運営の現状と今後

防災・防犯・清掃・見守りなど、地域コミュニティの中核として長年にわたり多くの役割を担ってきた自治会。しかし人口減少や高齢化、ライフスタイルの変化により、全国的に活動の継続が難しくなっています。三浦市では加入率93.8%と相対的に高い水準を維持しているものの、役員の成り手不足や会費徴収・広報紙配布といった業務負担の偏りは解消されていません。自治会は独立した任意団体ですが、その独立性を尊重しつつ、行政との協力関係の中で負担軽減と機能強化を進める必要があります。

全体の答弁を受けて感じたのは、自治会支援の枠組みがゼロベースで見直されておらず、市側の人的・財源的リソースも限られているという現実です。区長会の運営など、職員の目に見えにくい努力を理解しつつも、現状の関わり方では持続性に不安が残ります。当然ながら行政の支援に依存するのではなく、私たち若年層が主体的に地域づくりへ関わっていく姿勢も欠かせません。そのためには、世代や背景を問わず参加できる門戸を広げ、多様な関わり方を受け入れる環境を整えることが重要です。自治会運営におけるICT推進はそのための必須プロセスといえます。

また、令和4年度に区長会が実施した「すべて魅せます！三浦のふるさと54区知って写真館」のような企画は、地域の魅力を可視化し、新たな参加を促す好例です。



三浦市民交流センターニナイテで開催された写真展。内容は冊子にもまとめられました。

加入率の高さは三浦市にとって強みでもあります。その部分に安住することなく、次世代につながる地域コミュニティの形を模索し始めるべき時期ではないでしょうか。

発言の中での主な要望

- 1.各自治会の運営状況に関する実態調査
- 2.上記調査内容を共有できる仕組みづくり
- 3.区長会ホームページの有効活用
- 4.ICT推進支援のための情報提供と予算措置
- 5.休眠預金等活用制度の利用支援

新市長の公約と認識について

出口嘉一氏が新市長に就任してから、早くも2か月が経過しました。先の選挙については市民の方から本当にさまざまなご意見を頂戴しましたが、結果として私は出口市長を応援することができませんでした。事実確認が不十分なまま展開されたSNSでの発信、その結果として現場で必死に奮闘してきた方々の思いを軽んじるような言動に、どうしても共感できなかったからです。出口市長が選挙という民意によって選ばれたことは紛れもない事実です。しかし、その民意が正しい情報認識に基づいて形成されたものだったのか、強い疑念を抱かざるを得ない点がいくつも見受けられました。市政に携わる現役の議員として、一般質問という公の場でこれらの疑念をしっかりと確認する責任があると考えました。以下に、質問で取り上げた出口市長の当時の言動に関する問題点を一部抜粋します。

《三浦市社会福祉協議会への介入》

SNS上で、同協議会においてハラスメントが横行しているかのような前提のもと、これを是正するための人事介入を行うことを示唆する内容が投稿されました。根拠や正当性を欠いた当該投稿によって、同協議会の信用と活動に深刻な影響が及んだことは否めません。しかし市長答弁は「一般論として述べた」ととどまり、具体的な影響への認識も、責任に向き合う姿勢も示されませんでした。

《城山の土地売却額に対する批判》

“市が2億4千万円で売却した当該土地は、実際には10億円で売却できるはずだった”とする当時の批判投稿は、本定例会で完全な誤認であったことが明らかになりました。もし本当に意図的に価格を下げて公有地の売買契約が行われたのだとしたら、職員はもちろん、それを承認した我々議会としても大きな責任を負うことになります。当時の議事録すら精査せずに、そんな重大な瑕疵があったかのような虚偽情報を拡散したことは、職員や議会に対する重大な侮辱行為です。

《前市長の報酬削減についての誤認》

出口市長陣営が発行したビラには、「三浦市の衰退が続いても市長報酬は変わりません」との記載がありました。しかし今回の質問で、実際には前市長の報酬が何度も減額されていることが明らかになった上、出口市長はその事実を認識していませんでした。一方で、自身はボーナスと退職金の返上を公約に掲げています。有権者をミスリードする、アンフェアな情報発信であったと思います。

この他にも、出口市長の当時の言動については数々の問題が指摘されています。このような情報発信が許されてしまえば、これからの三浦市の選挙は“言ったもの勝ち”の不健全なものとなってしまいます。だからこそ、**市民の皆様には議会側の指摘や懸念を「揚げ足取り」と切り捨てず、その中身をしっかりと見極めてほしいのです。**これらの問題については今後、本定例会で設置された調査特別委員会にて議論が交わされます。出口市長には、当時の自らの言動について、政治家としての道義的責任を果たすことを求めました。



つかみ食べが本格化してきた
息子をバシャリ。
お姉ちゃんと比べて、だいぶ
やんちゃになりそうな予感…